

時局日誌 (十三)

Y H 生

八月十六日 我が海の荒鷲は此朝六時半より三回に互り粵漢線石龍、源潭、甕江口軍田等を襲ひ軍事施設に多大の損害を與へた後全部無事歸還した。

張鼓峰事件に於て敵に與へたる損害及び鹵獲品は主要左の如く發表。

- 一、敵に與へたる損害戦況により不明なるも徒歩兵四千五百、歩兵砲十六、戰車破壊及び擱坐六十九、飛行機墜確三、不時着四、機關銃破壊及び擱坐三
- 其の他輕機自動車など多數である、一鹵獲品、小銃百五、M・G六L・M・G十八曲射砲二、自動小銃三、擲彈四十筒、防毒マスク五、戰車砲彈架四、

履帶一、搭載M・G四、豫催銃身一、搭載無線機の箱二、戰車用發電機豫備箱一、戰車氣化機一

此日の五相會議に於て帝國の事變處理に關する最高方針を決定し風見内閣書記官長談話の形式を以て次の如く發表した

「政府は先般來數次五相會議を開き支那事變處理に關する重要問題につき研究討議したが既定方針に基づく今後の支那事變指導の最高方針將政權潰滅の爲め軍事行動に伴ふ政治經濟、其の他各般に互る指導要項新支那建設に對し帝國の協力すべき方策大綱事變に伴ふ外交方針などに關する最高方針につき

完全に意見の一致を見たので本日の開議に於て報告し決定した、なほ蔣政権の潰滅を朝すると共に東亞百年の平和の基礎を確立する爲め帝國が愈々國力を統合し作戦内政外交經濟其の他國家一切の努力を傾け長期戦に對應する現下必須の諸政策を強化し物心兩面を通じて戰時體制を充實せしむる事につき政府は其の措置の萬全を期する事を申合せた、五相會議は今後も引續き事變關係重要問題に關し討議を續行するはず。

八月十七日 ドイツからの若き使節團ヒツトラー・ユーゲント代表一行三十名は此

日午後二時十六分東京驛着電車で晴れの
入京、我が青少年團の賑やかな歓迎の中
に、ホームにも、驛前廣場にも、日獨交
驩の固き握手が交された後、一行は宮城
遙拜、明治神宮、靖國神社參拜、大使館
訪問とドイツ青年の意氣を以て次ぎ次ぎ
に訪日第一日のプログラムを終つて、夕
刻宿舎第一ホテルに入つた。

我が海軍航空隊の精銳より成る攻撃部隊
は勝見大尉指揮の下に長沙攻撃に向へり
折から中支一帯斷雲各所に存在し相當困
難なる狀況の下に長沙を爆撃し全機無事
歸還せり、攻撃部隊は南驛及び附近軍需
品倉庫及び集積所に對し全面的爆撃の雨
を降らせ全彈目標に命中完全にこれを爆
破せり、東驛攻撃部隊は驛及び附近倉庫
群、陸地測量局に對し多數の命中彈を得
多大の損害を與へたり。

上海支那紙の報ずる所によれば九江占領
後瑞昌附近の殘敵掃蕩中なり日本軍は遂

にその郊外七哩の地點を突破し十六日に
は戰鬪の中心は同方面に移つたと、なほ
日本軍は航空隊の支那軍爆撃と相俟ち着
々同方面の戰果を収めつゝあると。

八月十八日 内務省において土木會議河川
部會を開催した、追加計畫は今般の關西
阪神方面大水害の水源地たる六甲山系の
砂防計畫を國において直轄施行すること
(工費千二百五十萬圓)及び工費二億七
百九十一萬一千五百圓を投じて各府縣に
おいて砂防工事を施行することであり末
次内相議長となり次の如き挨拶を述べら
れた。

「去る六月下旬に互り我國を襲つた豪
雨はその雨量において、亦その地域の
廣汎なるにおいて、近年その類例を見
ざるところで特に關東、關西、東海、東
山等の諸地方においてはこれがため、
遂に未曾有の水禍に惱され、その損害
莫大なる金額に達し非常時局下洵に痛

恨の至りである。内務省としては尙秋
の出水期も目前に控へて居る關係上、
今後の水害擴大を極力防止すべく罹災
地方と協力して其の應急並復舊の處置
に付遺憾なき様善處して居る、治水事
業は洪水の災厄を防止し人命財産の保
護に努めると共に國土の保安に任じ産
業經濟發展の根幹を培養するもので、
其の効果の及ぶ處は極めて甚大なるも
のがある、内務省においては既に過去
三回に互る土木會議の決議に基き銳意
治水事業の遂行完成に付努力して來た
が、同時に最近の水害の狀況に鑑み更
に一段と各種治水事業の擴充進展を圖
る必要を認め、その調査研究に努めて
居つた、近年における水害の狀況に鑑
みれば、山地の崩壞並に溪流の荒廢に
因つて、水害を増大せしめたる實例は
極めて多い、従つて水害の防止輕減上
砂防工事の完成を期すことが、特に緊

念缺くべからざるものと考へる、よつて先般土木局に於て新に第三技術課を設置したのも、又その意圖するところは砂防に關する技術を專管せしめ以て河川の改修工事と併行してその工事の萬全を期せんとするに外ならぬのである。

本十八日わが海軍航空隊の精銳〇〇機より成る大空襲部隊は佐多、馬野兩少佐指揮のもとに中支一帯を掩へる斷雲を潜りて長驅衝陽及び寶慶飛行場を空襲せり地上に在りたる大型機中型機合計約二十機の中六機を炎上せしめ他の六機を爆破せる外飛行場北方の燃料庫三棟及び大型倉庫一棟を爆破炎上せしめた、折柄わが攻撃部隊に向ひ襲撃し來たれる約三十機の敵戦闘機と壯烈なる空中戦闘を演じその十六機を撃墜せり、本戦闘によりわが攻撃部隊も敵戦闘機のためその數機は命中弾を受けて戦傷者を生じたるも全機悠

々基地に歸還せり。又寶慶飛行場攻撃部隊は地上空中とも敵機を認めず飛行場滑走路を爆破し飛行場北西方の倉庫を爆破炎上せしめ全機無歸還せり。

本日鄂城方面敵艦艇を攻撃に向へる井上大尉指揮の〇〇機は約五十トンの軍用汽艇を撃沈せるが折柄出現せる敵重爆撃機十數機と壯烈無比の空中戦を演じその四機を確實に撃墜せる外他の三機に多大の損害を與へ墜落は確認せざるも黒煙を發せしめたり、わが方一機は本戦闘中敵弾を受け揚子江岸に自爆壯烈なる戦死を遂げたり。

事變以來廣東が空襲警報を最初に發した昨年八月十八日から丁度滿一年になる十八日廣東市政府が發表したところによればこの一年間に警報を發すること四百十五回、廣州市内の空襲百數十回、軍事施設その他の蒙つた損害五千萬元以上で、如何に我が軍の空襲が猛烈を極めた

ものであるか推察される。解縣南方四里の陌村陣地を抜いた〇〇部隊は引續き西南に進撃、堅陣を築いて必死の防戦に努めてゐる敵中に空入し十八日午後三時遂に陌南鎮を占領した。

中央失業対策委員會は本日厚生省に於て總會を開き次の如き答申を決定した。

「今次の物資動員の強化は支那事變に伴ひ國家當面の急務として已むべからざるに出でたるものなるを以て之に因り發生すべき失業の防止及び救済に當りては宜しく國民の理解を深め協心戮力積極的に時艱を克服するの精神を根基となすべきは言ふを俟たざる處なるもその影響する處は極めて廣汎且多岐に亙り而も事態の推移に依りては相當深刻ならんとするの虞あるを以て政府は速に各種産業の維持繼續の方途を講じて失業の防止に力を致しその維持繼續の困難なるものに對しては轉業又は

就職の指針を爲す等事應に應じて之が防止救済に萬全を期し以て舉國一致長期戦時態勢を堅持せざるべからず、如上の方針に基き物資動員に伴ふ失業に對する應急對策として左の要綱に掲ぐる諸方策の急施を緊要なりと認む。

八月四日から施行された關東地方の燈火管制は東部防衛司令部から「八月十八日日夜より燈火管制規則第四條適用を解除せらる」と發表ありたる爲め平常に復した之れに伴ひて次の警視廳告示が公布せられた。

警視廳告示第二五一號、本年八月告示二三四號による秘匿すべき光の指定は本日之を解せず、八月十八日、警視廳監安倍源基

八月十九日 工作機械試作獎勵金交付規則（商工省令第七四號）公布。

八月二十日 金使用規則改正（大藏省令第一號）公布。

時局日誌

八月二十一日 程天放に代つて駐獨大使に任命された前外交部長陳介は来る二十五日香港出發赴任するが當地にある陳友仁は陳介の赴任を機に二十一日特に「ドイツの對支政策」なる一文を發表し「ドイツはソ聯を叩き歐洲に大ドイツ國を建設するため日本と結んで支那に屈伏を求めた云々」とドイツの態度を誹謗した。

八月二十二日 山西省南部における敵軍はわが猛攻撃によつて遂に黃河に追ひ込められ潰滅に瀕し黃河南北兩岸の敵軍聯絡線は今やわが掌中に握られるに至り、二十二日北京軍司令部に達した討閩軍の進撃振り左の如く輝かしいものである。

一、蒲州を占領せるわが軍は野砲二、山砲四、迫撃砲三その他多數の兵器と彈藥を鹵獲し引續いて東南方山地の萬古寺附近の堅壘に據る敵を攻撃し二十日早朝これを突破、更に鋒先を轉じて蒲州南方二里の鞏陽鎮を占領、大打撃を

受けて潰走する敵に對し黃河の岸に向つて疾風如く追撃を加へつゝあり。

二、解縣南方山地より陌南鎮附近に互る敵陣地は堅固で所々にベトン式のトーチカを配し對岸靈寶附近からの迫撃掩護を受け優秀裝備の敵は頑強極まる抵抗を試みたが、〇〇部隊は二十一日これを見事に撃破しその主力を黃河に叩き込まんと急追中、陌南鎮の戦鬪による敵の遺棄死體は三百、鹵獲小銃機關銃兵器彈藥多數。

三、新鄉附近を討伐中の平權部隊は十九日正午新鄉西南方約十里中和鎮附近に蠢動する遊撃隊を撃退した、敵の遺棄死體三十七、捕虜四、わが損害死傷二四、更に隴海戰〇〇部隊は歸德西南方の勒馬集の敵數百に對し十八日より二十日にかけて戦鬪粉碎した、又津浦線寧陽附近において一刈部隊は十九日百數十の共產遊撃隊と遭遇交戦四十分で潰

一三五

滅させた、歸順匪賊歩雲軍は山東省城附近においてわが友軍として二十日右友第三六師の殘敵約五百と戦ひこれを撃破した。

八月二十三日 兵役法施行規則中改正（陸軍省令第三〇號）、學校卒業者使用制限令（勅令第五九九號）、醫療關係者職業能力申告令（勅令第六〇〇號）、等公布。

維新政府上海市政公署では上海の復興と建設に邁進し着々業績を擧げてゐるが誕生後日尙淺きに拘らず最近までの文化事業の治績左の通り。

◇教育 小學校は既に六十餘校開校、生徒總數九千九百四十人、教師三百五十人に達して居りこの外江蘇省管下のもの二十五校（生徒數二千百名）上海特務機關管下のもの八十五校（生徒數一萬二千九十名）と云ふ多數に上つて居り、右の外日本語専門學校などあり兒童に對しては學用品一切を支給してゐる。

◇衛生 惡疫流行の夏期に入るや豫防注射その他の衛生思想の普及によつて防疫に努めた結果注射を受けに來たもの約四十萬人を越えた、病院は四、施療所は十六ヶ所餘り又巡回施療馬車や救急車の活動と相俟つて衛生方面の萬全を期してゐる。

◇交通 浦東の上川、上南の兩鐵道は市交通局の手で農産物の散集その他の運輸に活動してゐる、又崇明島への往來は水路を利し縣自治委員會に登記せる民船は既に八百を越え上海と崇明島の往來も益々頻繁となつて來た。

八月二十四日 毛絲販賣價格取締規則（商工省令第五七號）公布。
九江方面より西進瑞昌攻略に任ぜる我が部隊は百四十度の炎熱を犯しつゝ頑強なる敵の抵抗を撃破し二十四日午後四時遂に瑞昌を占領せり、尙右本部隊主力は

瑞昌北方高地を谷を渡り峰を越えて敵の背後に迂廻しその退路を遮斷した、城外に今なほ執拗に抵抗してゐる數百名の敵は完全に我が包圍に陥つた。

八月二十五日 支那側中央通信電によれば揚子江北の廬州より西進中の我が軍の一部は六安街道を西進その先頭部隊は本日官亭を占領、又一部は桃溪鎮より西進し官亭南方の岔路口を占領した。

星子附近の戰鬪で敵第十二師約八千名に對し二十三日迄に與へた損害は遺棄死體千六百、捕虜約百五十、鹵獲品は迫撃砲八門、輕機關銃二十一、小銃實包多數であるが死傷百十數名であつた。

ニューヨーク・タイムズ紙上海特派員アーベンド氏は二十五日日本軍の漢口進撃作戰に關する上海軍事専門家の觀測として次の如き電報をニューヨーク本社に寄せた。上海に於ける外人軍事専門家の觀測によると日本軍は最近その作戰を變更

して漢口攻略には大規模な包圍作戰を採るに至つた模様である、即ち日本軍は一、合肥(廬州)から西進して京漢線を漢口の北方百哩の地點に於て切斷する。

一、黄梅から揚子江の北岸に沿つて前進する。

一、南昌を占領した後西進する。といふのであるが、かかる大規模な作戰が奏効するためには支那軍の内部的崩壊が起る場合はいざ知らず、少く共十月迄はかかるだらうと見てゐる。

八月二十六日 學校卒業者使用制限令施行規則(厚生省令第二三號)、航空機製造事業法施行期日(八月三十日)ノ件(勅令第六〇五號)、航空機製造事業法施行令(勅令第六〇七號)公布

支那側情報は瑞昌の陥落を自認すると共に揚子江南北兩岸の日本軍が引續き進撃中なる旨を報じてゐる、右情報によると瑞昌は數日間互る最も激烈なる戦闘

の後遂に占領されたと傳へられるが、支那軍當局は二十六日公表文を發し

「支那軍防禦陣が日本軍の空爆及び砲撃によつて潰滅し將兵亦數日間の血戦によつて規大なる損傷を蒙つたため支那軍は瑞昌を撤退せり、援軍は既に瑞昌南方地點に到着し目下日本軍に對し反撃を加へつつあり」と稱してゐる。

八月二十七日 航空機製造事業法施行規則(逕信省令第六九號)公布

三日間にわたる瑞昌攻略戦において敵に與へた損害は豫想以上の莫大な數にのぼり捕虜三百名、殆ど一個師近くを完全に殲滅してゐる、また二十五日夕刻までに判明せる鹵獲品は左の如くであるがこれまでの戦闘に比し火炮の少いのは敵が漢口近郊戦に備へ漢口附近に砲を集めてゐるためであらうと想像される。

山砲三門、同砲彈五百發、迫撃砲四門
同砲彈二萬五千發、機關銃三十、小銃

四百、同彈藥二千五百發。

黄梅の北方十二キロの多雲山(四百三十七米)の天險を恃みにして其前面山麓より黄梅平原北側に大陣地を構築して頑強に抵抗を續けてゐた敵の大集團軍に對し我軍は二十七日拂曉を期して突如猛攻撃を開始した。

我が不意討の總攻撃を食つた敵は狼狽して陣地を放棄し西北方に總崩れとなつて敗走、我軍は午前十時多雲山一帯の要害を完全に占領、かくて大別山脈の南端に展ける黄梅平原は完全にわが手中に收められ、一兵も敵の蠢動を見ざるに至つた。新銳部隊と合して土氣更に擧る飯塚、島海、山田、八隅の各部隊は南潯鐵路を挟んで南下進撃する〇〇部隊と呼應し玉子西南方より怒濤の如く德安に向け猛進撃を續け二、十七日午前十一時東孤嶺に據り抵抗する敵と激戦を交へ午後二時過ぎ遂に之を血祭に上げて同地一帯を完全

に占領、凱歌を擧げ、全部隊は更に〇〇街道を南進中である。

八月二十八日 湖口、獅子山砲臺の要塞に

は英國製十二センチ砲を備へ而もこれは昨年八月から五月までに製造された最新式の優秀な砲であつたが今次瑞昌戦における鹵獲品を調査した結果、小銃及び機銃弾は悉く極めて最近製造された英國製のものである事判明した、これに反し安慶戦までは相當佛國製兵器が入つてゐたが現在では全く影をひそめ英國製のみになつてゐる。

八月二十九日 臨時輸出入許可規則中改正

(商工省令第七七號)、教育教化に關する荒木文相の訓令(第二四號)、航空機製造事業委員會官制勅令第六〇九號、航空機技術委員會官制(勅令第六一〇號)公布

◎文部省訓令第二十四號

北海道廳長官
府縣知事

直轄學校長

公私立大學高等學校及專門學校長

神佛各教宗派管長及基督教重立者

今次事變一周年ニ方リ畏クモ優渥ナル勅語ヲ拜ス。聖慮洵ニ恐懼ニ堪ヘザルトコロナリ。國民宜シク奉公ノ至誠ヲ效シ聖明ニ應ヘ奉ラザルベカラズ。

今ヤ忠勇ナル皇軍神武ノ威ヲ以テ赫々タル戦果ヲ收メ、内國民拮据艱勉相率キテ銃後ノ護ヲ鞏ウシ、國家總動員ノ實績ヲ擧グルモノ、咸是世界平和ヲ確立シ人類協和ヲ致ス所以ニ外ナラズ。然ルニ今尙往々國內一部ニ忌ムベキ差別的陋習ノ遺存スルヲ賭ルハ洵ニ憾トスルトコロナリ。是ニ於テ渾融輯睦以テ和協ヲ致シ、國民相互ニ敢テ軒輊ナカラシムルハ教育教化ノ力ニ俟ツモノ多シ。身ヲ之ニ致スモノ愈々鞏國ノ大義ヲ明ニシテ國民ノ覺醒ヲ促シ、國民一體同胞融和ノ實ヲ擧ゲ苟モ差別的觀念ノ如キ丞ニ之ヲ芟除シ、

以テ天業翼贊ノ根一ヲ固カラシムルニ萬遺憾ナキヲ期セラレシコトヲ望ム。

昭和十三年八月二十九日

文部大臣男爵 荒木 貞夫

畏し聖上金御節約の思召(下條賞勳局長裁謹話)

「現下の情勢に鑑み特別の思召により當分の中金杯下賜を御取止めに相なりましたので右に伴ひ保管中の豫備金杯は今同これを大藏省に保管轉換し金資金特別會計の保有金中に差し加へる事になりました、この金の總目方は凡そ十二貫金であります。」

廬州方面より西進せる我部隊は百四十度の酷熱を犯し逐次敵の抵抗を擊破猛進を續けること數日、二十八日午後五時途に六安南門を占領せり、續いて城内を掃蕩中なり、又その一部は同日夕刻、霍山(六安西南方約三十キロ)東側に進出し同地の占領も今や目捷の間に迫りつつあり

八月三十日 商店法施行期日（十月一日）

ノ件（勅令第六一八號）、商店法施行令（勅令第六一九號）、商店法施行規則（厚生省令第二五號）、北海道廳官制中改正（商店法施行ニ關スル事項）ノ件（勅令第六一五號）、地方官制中改正（商店法施行ニ關スル事項）ノ件（勅令第六一六號）、警視廳官制中改正（商店法施行ニ關スル事項其他）ノ件（勅令第六一四號、日滿及伊三ヶ國間貿易協定ニ關スル支拂ニ關スル協定（條約第六號）、航空機製造事業法施行ニ關スル仲（陸軍省令第三四號）公布。

精銳健脚を誇る我が揚子江北岸進撃部隊は湖北省東部地區にあつて英氣を養つて居たが三十日拂曉いよ／＼歴史の漢口攻略の火蓋を切つた、漢口の東北方に蜿蜒と扇形に連らなる大別山脈の尾が揚子江岸に迫るところ湖北省東部地區の黃梅廣濟間の天險こそは揚子江北岸におけ

る漢口防衛の最大且つ最強の陣地であり今や我が軍は破竹の勢ひを以つて進撃の一気にこれを陥れんとして居る。

二十九日午後十一時添田部隊は東北兩門より霍山縣城に突入、城内の殘敵を掃蕩し嶺三十日未明完全に全城を占領城内及び各機關に日章旗を翻した、我軍將士の絶叫する感激の萬歳は曉の大別山を震撼した。

去る二十四日廣東附近に於ける中國航空公司旅客桂林號の不時着事件に鑑み中支軍報道部は斯る不祥事の再發を防止する意味から三十日濱田報道部長の名を以て左の如き聲明を發した。

「八月二十四日廣東附近において生ぜる桂林號事件に關聯して陸軍の見解を述ぶる事は將來この種の不幸なる出來事を防止する上に効果あるべきを信ず、吾人の經驗に依れば大空に於て軍用機と旅客機との識別は困難にして雪の存

在により視界狭きとき時に然り、故に何等の豫告なく現實の作戰區域の上空を飛翔する飛行機は之を軍用機と認むるの已むを得ざるものあり、從つて何等かの必要に基き作戰地上空を飛翔する民間航空機はその機體の型式、色彩、徑路、發着時間及び搭乗者の身分等に關し豫め我が方の諒解を求め以てこの種不幸なる出來事の發生を避けんとする陸軍の努力に協力せん事を要望す。」

八月三十一日 皇軍に協力、山東省諸城附近の治安肅清に活躍せる剿匪軍張步雲軍は三十日午前六時諸城西南方八キロ朱泮及び黑龍溝附近において約一千の敵が據る前進陣地を攻撃してこれを突破、更に仁里莊（諸城西南方十八キロ）附近の敵本陣地に對し我が軍飛行隊の援助により猛攻を開始した、この敵は石友三軍第六師第三旅及び騎兵隊である、このため附近の治安恢復し諸城縣公署は二十九日よ

り事務を開始した。

九月一日 天皇、皇后、皇太后陛下には今日、大震災十五周年記念日に際し午前十一時五十八分畏くもしばし御黙禱遊ばされた御由で、戦時下における第二回目記念日に殊のほか御感深げに拜された

と承る。

時變下に迎へた關東震災十五周年記念日、前夜半から突如襲來した颱風が『あの日』を想起させるべく餘りにも深刻な暴威を振つた九月一日、思ひ出の午前十一時五十八分、一齊に鳴るサイレンを合圖に全市民は一分間の黙禱を捧げて銃後の誓ひをいよゝ堅くしたのである。

厚生省分課規程中改正(商店法ノ施行ニ關スル件)施行

政府は去る六月乃至七月の關東、關西兩地方における水害復舊費として第二豫備金より左記金額を支出することに決し勅裁を経て一日官報を以て公示した。(單

位圖

- △木曾川外六箇所水害復舊費八二六、一五〇△兵庫、靜岡兩縣砂防費補助二七〇、六七一△兵庫縣水害土費補助二、八三〇〇〇△茨城縣同上三五〇、〇〇〇△愛知縣同上五〇、〇〇〇△岐阜縣同上三〇、〇〇〇△福島縣同上五〇、〇〇〇。

此日午前十時より首相官邸にて閉所式を舉行躍進する日本の海外發展に相應する東亞を主とした人文、自然に關す科學的研究のスタートを切ることになつた

東亞研究所は東亞の人文、自然の科學的研究を目的とした財團法人で資金は民間よりの寄附金十年間一千萬圓(毎年百萬圓)と略これと同額の政府補助金を以て充て從來より活動してゐる東亞問題に關する各種調査、研究機關と有機的に聯絡し又學界、民間の權威者をも動員して綜合的研究の實を擧げんとするもので十

年間を以てその研究を一段落とし、爾後には必要に應じ繼續する計畫で政府の國策樹立に資するところ大なるものとみられ今後の活後の活動は相當期待されてゐる、なほ同研究所の總裁並に理事は左の如くである。

◇總裁 公爵近衛文麿

◇副總裁 男爵大藏公望

◇理事 企畫院次長青木一男、海軍中將原敬二郎、陸軍中將林桂、岡本武三、

遠藤柳作、唐澤俊樹

◇監事 大藏省理財局長大野龍太、東拓總

裁安川雄之助、大阪商船社長村田省藏

馬鞍山の敵陣攻撃中の梅田部隊は繼竹

嶺山地に對し、三十一日夜から徹宵猛攻を續け斷崖に據る敵と山上で激戦を交へた後一日午前六時二十分頂上の敵陣地を

占領した、敵彈雨飛の中を更に中岩、大岩に向つて攻撃前進中、峻峻な斷崖上には日章旗が旭日に翻翻と獵つてゐる。

寺垣、人見、藤岡、太田各部隊の山峻地帯強行空破により田中、園田、木島、市岡各部隊面前の敵は完全にその退路を断たれ、更に星子より南進する津田、飯塚、島海、山田、八隅、大島各部隊の東方よりの猛攻に逐次敵前線部隊は山嶽地帯に退却し同地一帯約十萬餘の敵は茲に完全に我が軍に包圍され文字通りの袋の鼠と化するに至つた。

九月二日 昭和十三年度歳出豫算中第一豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキ費途ノ決定（勅令第六三〇號）農林省次官井野碩哉勇退し後任として有島農相と同窓生經濟更生部長小平權一起用せられ三宅水産課長が經濟更生部長に企畫院調査官田中長茂水産課長に三浦更生部總務課長企畫調査官に夫れ々々勅任。

問題の中國航空公司桂林號（ダグラス旅客機事件に關して帝國政府は米國政府の申入れに對して去る三十一日付米國政

府宛公文を以て我方の正しき見解を具陳したが上海方面では同事件以來皇軍の作戰區域内に於ける第三國の航空機の安全が保障されず危険なりとの風説が流布されてゐるので外務當局では誤解一掃のため二日午後六日左の如き外務當局談を發表、わが空軍作戰區域内を航行する第三國機並に支那旅客機に對する我が正當なる態度を明確にした。

一、日本軍は支那の非軍用機がその非軍用機なる限りこれを攻撃する意圖全然なきも、これが我軍飛行機の行動する地域においては支那非軍用機の飛行に對しその安全を保障すること能はず、右は

(イ) 空中においては機種の判別極めて困難なること。

(ロ) 非軍用機と雖も偵察その他の軍事目的を遂行し得ること。

(ハ) 支那飛行機は從來我が艦艇の攻撃

並に偵察のため屢々來襲し且つその標識も一定しをらざること等の理由に依り當然なりと認む。

二、第三國の旅客機に對してはその航路等に對する我方の要望に従ふ限りその安全に對しては十分に注意すべし、その例として去る二月英國『ブリテイツシユ・インペリアル・エアウエイズ』に對しその所屬飛行機の香港發着に關し日本側の希望する航路を指定し爾來同社は我方の要求に應じたるため一度も不測の事件發生せず。

今朝梧州を襲つた我が海の荒鷲は折柄梧州飛行場に集結中の支那軍飛行機十數機目懸けて巨彈の雨を降らせその大部分を潰滅し去つた。

當地に達した支那側情報によれば右は廣西軍が蔣介石に特に請うて梧州に集結したソ聯製イ十五型戰鬥機と謂はれ廣西軍は連日に互る我が海の荒鷲の廣東省各

所及び廣西省要地の爆撃に對し廣西省出身の支那人飛行士のみを以て新「鷹隊」なる飛行隊を組織し我が海軍航空隊に抗戦せしむると共に廣西省内防空陣の強化を圖らんとしたものであるが、我が荒鷲隊の前には蟻螂の斧を揮ふが如く無残にも僅か一時間餘りで潰滅し去つたものである。

我江北作戰部隊の右翼六安を占領せる太田、西大條、毛利福樂等の諸部隊は一日夕鳥龍廟を、その左翼部隊は同日又安徽河南省境の要衝葉家集を陥れた。|| 廣濟進撃部隊|| また曩に黃梅を抜いて湖北省内に逸早駒を進めて居たわが原田、古賀、若松、中野長谷川、佐野等の諸部隊も意氣軒昂西進して一日午後五時黃梅西方十六キロの双城驛及びその南方地區に進出し、更に廣濟目指して進撃中である。瑞昌南方山嶽戦|| 一方江南九江瑞昌以南の潯南鐵道を中心に布陣せる敵陣を颯潰

しに撃破南進中の諸部隊も頑敵に對し包圍態勢をとりつゝ南昌進撃の作戰は順調に進捗しつゝある、殊に瑞昌以南の山嶽地帯の頑敵を力攻進撃中の我藤岡、寺垣、山本、松山、大寺、岩隈、吉松、松本等の諸部隊の奮戦は實に目覚しいものがあり、同方面の前面の敵は十三、十五、二十、二十一、二十二、二十三、二十五、二十六、九十五の九師であつたが、これ等敵軍に與へた損害は去る二十七日までに遺棄死體九百、鹵獲山砲四、迫撃砲一チエコ機銃六、小銃彈二十萬發で又三十一兩日の追撃戦に於て遺棄死體二千に及んでゐる。

去る二十八日六安を占領せる我部隊は引續き當面の敵を粉碎し九月一日午後四時鳥龍廟（六安西北方約五十キロ）を占領せり、又三十日獨山鎮、霍山を占領せる部隊も破竹の勢ひをもつて敗敵を急追し同日同時刻安徽、河南河南省中の要點

葉家集を占領せり。

六安を攻略した諸部隊は惡路を冒して猛進を續け先鋒太田部隊は一日夕刻六安の西方六十キロの要點鳥龍廟を占領更に敵を急追中である、敵は逃走に際して道路を徹底的に破壊し殊に六安附近より西方二十五キロの揮手店附近に至る間は橋梁といふ橋梁は全部破壊、道路は殆ど五十メートル毎に幅三メートル、深さ二メートル位の溝を以て寸斷してあり、先頭部隊の神速な進撃を助けるため道路溝築部隊の拂つてゐる努力は絶大なものである。

廣濟街道を洑河の勢ひで猛進中の住野若松部隊は三日午後六時遂に合掌山を占領した、長谷川部隊は双城驛より西方へ進撃所在の敵を制壓して午後五時三十分頃廣濟街道の要地たる車坊舖の東北大波を陥れた、合掌山より廣濟迄僅に三里。八時間に互る死闘を續け遂に廣濟への

第二陣地を突破した若松、佐野部隊は二日午後七時遂に本街道上の要衝車坊舗を占據尙も追撃の手を緩めず砲聲股々として廣濟城を壓せんばかりである、この一戦に敗れた敵は雪崩を打つて第三線陣地荊竹店の線に潰走中である。

武漢三鎮を死守すべき敵の第一線陣地として張發奎、李漢魂等麾下の十五師が廬山西南方山麓の天險に據つて護る堅陣に對しわが軍は去月二十七日以來連日空軍の援護の下に寡兵よく猛攻撃を續けてゐたが同部隊の右翼迂回隊の園田部隊、梅田部隊は惡戰苦闘の末一日午前六時十分廬山群峰の一つで敵の同方面防衛の據點と恃む繼竹嶺（一千米）の頂上高く感激の日章旗を揚げ引續き中岩、大岩の嶮に據る敵に對し○砲及び空爆の巧彈猛撃の雨を降らせた。

梅田部隊は二十七日來惡戰苦闘敵の迫撃砲、機銃、手榴彈の急霰下に曝されな

がら見上げるやうな懸崖や岩壁を尺取蟲のやうに繩梯子で攀つた、水筒代りの一升壺の貴い水さへ繼竹占領のため棄てた、血染めの兵が一寸一かたまりになつて立つて居る、肉の現はれた肘や脛は血を吹き汚れた軍服はすり切れて足は棒のやうに突立つて居るだけで、口にして居る乾麵飽も豪雨のためぶよぶよである、その豪雨は奔流の如くわが進攻を拒み皇軍將士は岩間の灌木に取り絶つた一夜もあつた、かうして惡戰苦闘に耐へた梅田部隊は今最後の肉弾戰決行の夜を迎へたのだ、肉弾は山頂目がけて突撃する、敵の迫撃砲、機銃は廬山を揺がさんばかり五秒の間斷さへもない、殆ど喰ふや喰はずの梅田部隊の將兵、十字砲火の中をひた押しに、山頂へくと進む、この攻撃に磯沖中尉以下多數の死傷者を出したが遂に一日朝山頂に到達した。曹家坂を陥れた○○街道南方進撃部隊は有力なる○

○部隊の到着を俟つて昨日午後八時より同地東方の東嶺及び東南陳家山の山峽に猛烈な夜襲を企て兩山地一帯は布陣頑強に抵抗を試みる敵五千に潰滅的打撃を與へて夜半遂にこれを完全に占領した。

陸軍航空隊新銳久保木、柴田、野木、二井の各部隊は二日中支戦線における活躍の火蓋を切り午前九時全力を舉げての大編隊を以て斷末魔の徳安の敵陣地に對して初めての火爆撃を敢行した。

九月三日 藤岡部隊は三日午後四時馬廻嶺に突入他の部隊と協力して廬山西南方山嶽地帯に蟠踞せる三十個師を完全に包圍し殲滅的打撃を與へたが五時四十分遂に○部隊は南潯鐵路の要地馬廻嶺を空軍協力の下に完全に占領、感激の日章旗を續した。

黃河南岸西隴海線一帯の敵に對するわが方の攻撃は着々進歩、孟縣、風陵渡兩面より敵を壓迫一氣に渡河隴海線を遮斷

してこれを潰滅せんとする體勢にある。

九月四日 昨三日海軍航空隊は廬山西方地區において陸軍の攻撃に即應し潰走する

敵兵を攻撃多大の成果を収めた、又南支

方面においては熾烈なる防禦砲火を冒し粵漢鐵路南部において線路四ヶ所を爆破切斷せり。

崇義鎮を占據した我が〇〇部隊は二日

朝行動を開始し、途中敵を撃破しつゝ招

賢鎮を攻撃頑強に抵抗する遊撃隊總司令

朱懷泳の率ゐる九十四師約二千の敵を撃滅して三日朝完全に同地を占領した、な

ほこの戦闘における敵の損害は調査中な

るも途中後揚碧の戦闘における敵の遺棄死體は約三百であつた。

廣濟守備第一線堅陣金山寺、王家砦、

田家砦の頑敵に死闘十一時間半に及び白兵の果敢なる攻撃を加へてゐた佐野、長

谷川兩部隊は四日午後三時三十分遂にその峻峰金山寺を完全に占領、標高約五

百メートルの山頂に日章旗を懸した。

九月五日 醫療關係者職業能力申告令施行規則(厚生省令第二六號)、同上事務取扱

手續(厚生省訓令第二六號)公布。

南潯鐵道西側平野を猛進中の〇〇部隊は敵大軍を急追しつゝ五日朝德安北方四五里の地點に迄肉薄した、一方鄱陽湖畔

星子より星子、德安街道に沿うて進撃中

の〇〇部隊はこれ亦刻々東北方より德安

への距離を短縮しつゝあり、德安は腹背に皇軍兩部隊の重壓を受け絶大な脅威を感ずるに至つた。

本五日午前棚町少佐の率ゆる大空襲部隊は信陽を攻撃せり、信陽驛及び附近に

集積せる軍需品に對し徹徹的爆撃を敢行し驛倉庫及び附近電燈廠に黒煙天に沖す

る大火災を起さしめ又壯んに火藥類の引火誘爆するを認め全機無事歸還せり。

赤湖西南岸の武山西麓を驅け下り湖の如く敵の堅陣築架山に迫つた〇〇部隊は

四日深更果敢なる大夜襲を試み一氣に筆

架山東麓及び東北麓より山頂の敵に猛攻を加へ月明下壯烈な白兵戦を演じ五日午前六時同山を完全に占領、日章旗を高く

揚げて長江の流れを俯瞰しつゝ感激の萬歳を高唱した、又〇〇部隊は午前七時大

胞上高地に〇〇を布陣し敵の頭上に雨の如く巨弾を浴せて制壓中である。

九月六日 ニューロンベルグ、ナチス黨大

會はいよいよ六日午前十一時半開會を宣せられて、今次黨大會に對するヒットラー

一總統の宣言は一時間に互リワグナー

氏(バイエルン知事)によつて代讀せられた、右宣言はイタリヤ並に英國につき

僅に觸れたのみでテエツク問題はいふに及ばず、外交問題には殆ど言及してゐない、その主要部分は經濟的確保、軍隊の

整備、ユダヤ人の國際運動並に共產主義思想の排撃を強調することによつて占められ、ドイツ民族の團結を謳つたが特に

經濟的諸問題については詳しく説明して
ゐる。

大別山麓の諸堅壘を完膚なき迄に撃破
廣濟を眼下に見下し破竹の進撃を續けて
ゐる江北戦線部隊は愈々六日午前七時を
期し廣濟總攻撃に移つた、即ち左翼中野
長谷川部隊は納家砦より一擧に獨山、許
可鋪方面より、又右翼佐野部隊は楊家鋪
の線より、中央若松部隊は五里坡よりそ
れ／＼廣濟目指し友軍の荒鷲十數機の空
爆と藤村部隊の掩護射撃の下に全面的攻
撃を開始したが六日早朝敵の據點鷲峰寨
に挺身肉弾突撃を敢行午前七時遂にこれ
を占領、全將兵は山頂より西方五キロの
廣濟を俯瞰し意氣天を衝き更に猛進中で
ある、又他の部隊は鷲峰寨の南方要害胡
立を同時に占領した。

武漢を目指し進撃を續ける我軍は六日
河南省南部の要衝固始に突入、又揚子江
北岸の敵第一防禦線廣濟縣城を占領着々

戦果を納めつゝある、揚子江北岸を追撃
する〇〇部隊は東衡山、横岡山を連らね
る堅陣を突破して六日朝來廣濟城を猛攻
中であつたが遂に三日これを占領、武漢
防衛敵本防禦陣の一角はこゝに破壊を生
ずるに至つた。

昨五日海軍航空隊は全支に互り極めて
活潑なる攻撃をなせり。即ち中支方面に
於ては内陸各地重要地點を爆撃し又陸軍
作戦に協力その前面の敵を攻撃せり。

一、岳州 攻撃部隊は岳州驛東側機關庫
倉庫群、構内建物、線路を完膚なきま
でに爆撃、數ヶ所より火炎天に冲する
を認めたり。

二、信陽 攻撃部隊の戦果は昨報の通り
三、南昌 攻撃部隊は驛附近倉庫群及び
集積軍需品に徹底的損害を與へたり。

四、廣濟 地區においては敵野砲陣地集
團部隊を反復爆撃してこれを潰滅せし
めたり。

五、馬廻嶺 南方地區に於ては敗走する
敵集團部隊及び森林地の敵集地部隊を
果敢なる銃爆撃により潰走せしめたり
六、德安 地區に於ける野砲陣地、ト
チカを爆破せり。

七、德安、永修 本道路上の敵部隊軍用
自動車群及び道路附近の敵陣地を反復
銃爆撃多大の損害を與へたり。

八、瑞昌 西北地區の敵野砲陣地及び集
團部隊を數十ヶ所攻撃、徹底的に制壓
陸軍の進出に協力せり、之等の攻撃に
おいて我が方は何れも全機無事歸還せ
り。

我が猛追撃により敵大軍は算を亂して
大混亂裡に潰走した、南潯線方面は敵兵
の屍が到る處累々として十里に互り一帯
は腥風鼻を衝くばかりである、鹵獲兵器
も莫大で敵遺棄死體は實に二萬二千を超
える有様である。

歐亞航空会社のエンケル機は五日午前

八時香港啓德飛行場を出發昆明に向つたが途中午前九時十分頃廣州の北方約一〇〇キロの佛崗附近において日本海軍機より射撃を受けガソリンタンクに銃弾命中ガソリンが噴出するので零時十五分遂に廣西省中部の柳州に不時着した、機體乗客共に無事であつた。

九月七日 馬廻嶺突入後息つく間もなくその西方山地に進撃した飯野部隊は星子、徳安街道の中間地區幾多の丘陵地帯を越えて轉戦激戦七日朝七時敵の主陣地蜘蛛山（馬廻嶺東方七キロ）を占領した。

我が揚子江北岸進攻部隊が六日廣濟を陥れるまでの大山岳戦において敵は十六個師と學生教導隊より成る十萬の大軍を完全に打破られ敵の遺棄死體のみにても一萬五千以上に達しその他大小砲門、銃器彈藥の鹵獲は數萬挺、十數萬發に達し敵に殲滅的大打撃を與へたのであつた。

馬廻嶺から進撃中のわが飯野部隊は夜

に乘じ部隊の一部を以て敵を奇襲、六日午前三時頃完全に金林街を占領し戦果を擴大中である。

廬山西方地區一帯に互つて頑強に抵抗した敵は第九戰區約五十個師の三分の二で我が軍はこの過半数に徹底的打撃を與へ殊に山東軍孫桐萱の率ゆる第二十、二十三、八十一師は殆んど潰滅した、更に東孤嶺の敵は第五十師で中央直系軍大部隊の南昌集結を後詰として又鄱陽湖方面に面する我軍に備へてか目下王仲廉の指揮する第八十五軍が我が前面に展開してゐる、去月十九日頃から兩三日前までのかの南北兩戰線に於ける敵の遺棄死體は三萬數千を數へ砲十門、輕機二百、迫撃砲二百同彈丸二千、小銃二千六百（自働小銃を含む）、同彈丸二百五十萬發、米六百俵、手榴彈五、自動車三臺馬千三百頭を鹵獲し、捕虜多數に上つてゐる。

黃河北岸の我〇〇部隊は六日午前八時

兩方面よりする巧妙なる包圍攻撃を以て遂に溫縣縣城を占領した。

昨六日海軍航空隊は左記攻撃を敢行せり。

一、山ノ上少佐の指揮する南昌方面攻撃部隊は汽車站附近における軍需品倉庫及び兵舎並にその附近の約二十棟の倉庫群を爆撃これを潰滅數ヶ所を炎上せしめ又南潯鐵道終點附近の大倉庫の殘存せるもの三十を爆破炎上し南昌に通ずる大橋を爆破せり。

二、森大尉の率ゐる部隊は極めて不良なる天候を征服してよく寧滄飛行場を攻撃せり、空中地上ともに敵機を認めず飛行場滑走路を爆破せり。

三、九江方面において陸軍部隊作戦に協力せる海軍航空隊の攻撃次の如し。

イ、廣濟攻略に對しては龜、渡邊井上各大尉及び北島中尉の率ゐる部隊は全線に互りこれが進出を支援、遮防

陣地、兵站部隊、軍用自動車群に對して徹底的重爆撃を爲し多大の損害を與へ潰走せしめたり。

ロ、徳安附近及びその南方においても敵野砲陣地集團部隊を各所に爆撃制壓せり。

ハ、瑞昌北西地區において陸軍部隊の攻撃により浮足立つたる敵は群を爲して潰走す、海軍航空隊の數十機は又復これを攻撃、徹底的大損害を與へたり。

四、廣東方面においては引續き粵漢鐵道源潭驛附近鐵橋を爆撃これを爆破せる外線路數ヶ所を切斷せり。

九月八日

◎農林省訓令第九號

廳 府 縣

農地調整法施行ニ關スル件

政府ガ新ニ農地調整法ヲ制定シタル所以ノモノハ農業經營及農家生活ノ基礎タル

農地ニ關スル諸般ノ關係ヲ調整シ之ニ依

リ農地ノ所有者及耕作者ノ地位ノ安定向上及農業生産力ノ維持増進ヲ圖リ以テ農村經濟ノ更振興及農村平和ノ保持ヲ期セントスルニ在リ之ガ爲ニ本法ハ我國農村本來ノ美風タル互讓相助ノ精神ニ則リ我國農業ノ特質タル家族制度ノ上ニ立ツ農業經營ノ基礎ヲ安固ナラシムル趣旨ヲ以テ

一 兵役其ノ他特別ノ事由アル農家ノ申出ニ依リ市町村其ノ他適當ナル團體ヲシテ農地ノ管理又ハ買取ヲ爲シ以テ農地調整上適切ナル處理ヲ爲サシムルノ制度ヲ拓キタルコト

一 自作農創設維持ノ事業ニ關スル體系ヲ整備シタルコト

一 農地ノ賃貸借ノ存續消滅ニ關スル實體の規律ヲ爲シタルコト

一 小作調停制度ヲ擴充強化シ且小作關係以外ノ農地ノ利用關係ニ關スル調停

制度ヲ拓キタルコト

一 市町村農地委員會及道府縣農地委員會ヲ設置スルコトトシ農地ニ關スル各般ノ事項ニ關シ自治的ニ實情ニ即シタル處理ヲ爲サシムルコトト爲シタルコト

等に關シテ規定ヲ設ケタルモ農地ニ關スル實體の規定ハ農村ノ實情ニ鑑ミ根本的且普遍的ナル事項ニ關スルモノニ限り之ヲ定メ爾餘ノ事項ニ關シテハ市町村農地委員會及道府縣農地委員會ヲシテ地方ノ實情ニ即シ自治的ニ之ガ處理ヲ爲サシムルコトト爲シタリ仍テ農地委員會ノ委員ノ選定竝ニ之ガ指導監督ニ萬全ヲ期シ之ガ公正ナル活動ニ依リ簡易敏速ニ各地農村ノ實情ニ即應シテ農地關係調整ノ實ヲ擧ゲシムルコトト肝要ナリ

現下非常ノ時局ニ鑑ミルニ本法ノ圓滑適正ナル運用ニ依リ事態ノ推移ニ備ヘ農地關係ノ調整ヲ圖リ殊ニ應召農家ノ農地ノ

處置等ニ萬遺憾ナカラシムルコト洵ニ緊要ナリ地方ニ於テ直接本法運用ノ術ニ當ル地方長官ハ克ク其ノ本旨ヲ體シ管下農村全般ニ互リ十分趣旨ヲ徹底セシメ本法所期ノ目的ノ達成ヲ期スベシ

昭和十三年九月八日

農林大臣伯爵 有馬 頼寧

「當地に達したマニラ發UP電によれば蔣政權は一アメリカ専門家の指導の下に雲南に飛行機製作工場を建設する計畫で先般ハワイアン・クリツパー號で遭難したカーチス・ライト飛行機製作會社副社長ワイマン氏も右計畫と何等かの關係あり又同會社の社員二名が最近アメリカよりマニラに到着九日香港に飛來の豫定である」と。

日毎の空襲に怯えつゝ支那軍事機關は八月における日本空軍の中武漢三鎮の空襲統計を次の如く發表してゐる。

「武昌 漢陽、漢口十二回、投爆數千

七百十五個、輕傷千三百八十七人、重傷九千九百八十二人、死亡八百二十九人建築物破壞政府機關百五十二軒。」

皇軍の果敢なる攻撃により敵の要害廣濟は遂に陥落したがその戰勝の蔭には野口○衆麾下の豪勇をもつて鳴る田中軍一大尉(鹿兒島)の率ゐる○隊の決死的武勳が燦として光つてゐる。

九月九日 電氣通信委員會官制(勅令第六三一號)外務省ニ外交顧問ヲ置クノ件(勅令第六三二號)公布

去る四日の馬廻嶺に至る追撃戦において○○部隊の鹵獲品は左の通りである。

捕虜六百四十名、輕機四十挺、追撃砲八門、小銃彈二百萬發、手榴彈三千發糧秣六百俵、遺棄死體三千を超え。

河南省境黎家集より進發、一路西進して會家店子羅四寨を次ぎ次ぎに席卷した我が有力部隊は七日の闇夜に乗じて方家集北方七キロ郭陸灘南方の要地樟柏嶺を

占領、その南方地區に雲集する敵に對し八日拂曉より包圍攻撃を開始した、我軍のこの方面の進出は葉家集西方富金山のトイチカ陣地を固守する敵の退路を遮斷し且西方の要衝商城の敵に一大衝撃を與へてゐる。

江北に江南に我が陸の精銳は打倒蔣政權の大旗を翳してその牙城武漢三鎮を目標して今や本格的征戰の歩を進めつつあるが、我中支軍當局では九日午後五時當局談を發表漢口攻略をもつて甘んぜず飽迄聖戰の目的を貫徹するに非ざれば斷じて戈を收めずとの斷乎たる決意を表明するところあつた。

江北戦線北方地區に突如我が奇襲部隊が出現、巧妙極まる神出鬼没の作戦に一大勢力を加ふるに至つた、即ち今や我が固始占領部隊がひた押しに猛攻を續けてゐる大別山北麓の中軸光州の北方進河の線に忽然と有力なる我が間官部隊が出現

したのだ。又西湖の北岸要地澗河集上流地點に於て三百の敵を撃退し敵の小型汽船二隻、小銃七十其の他多數の鹵獲品を獲て遂に八日には光州北方に到達し、敵約五百と遭遇忽ちこれを撃退し敵は死體四五、軍馬死體二を遺棄して敗走、捕虜五〇、馬二四頭、機關銃三、小銃二を得た。

津田部隊は八日午後四時西孤嶺の山頂(標高三四一メートル)を奪取、日章旗を翻し九日朝來戦果を擴大、午後西孤嶺一帶を殆ど占領した、飯島、福井、山田、八隅各部隊ともに戦果を擴大中である。

九月十日 商工省貿易局分課規程改正(九、一〇ヨリ施行)發表

工政會、日本技術協議會、七省技術者協議會(藏、農、内、逓、鐵、厚、商)對支技術聯盟より成る「産業技術聯盟」は十日午後一時日比谷公會堂で

「近衛首相(代理)外務大臣、結城日銀

總裁、伍堂元商相、日本技術協議會長有馬伯、工政會理事長八田嘉明氏等出席」盛大な結成發會式を舉行。

中支方面において海軍航空隊は溯航部隊の作戦に協力江岸の敵陣地を爆撃し多大の損害を與へたり、なほ玉山攻撃部隊は同飛行場附屬建物數棟を大破し全機無事歸着せり。

南支方面において數個の空襲部隊は前日に引續きそれぞれ粵漢線交通路の遮斷に向ひ源潭鐵橋畢村莊鐵橋を爆撃し橋梁の一部を大破しまたは落下せしめ橋脚及び線路を破壊して附近にありし貨車群並に倉庫を爆破せりわが方損害なし。

海口(海南島)來電によれば九日午後我が空軍は同島第一の縣城瓊州を爆撃した。

大別山々脈方面の〇〇及〇〇に待機中であつた西澤、田中兩部隊の〇機は十日曉雲を衝いて金家集(葉家集西南方二十

キロ)を空爆、又中蘭部隊の〇〇機は全力を擧げて十一時半頃金家集を空襲し多大の戦果を擧げた、これにより江北進撃の各部隊も俄然猛攻撃を開始するものと見られる。

葉家集西方山嶽地帯の激戦は遂に八日目を迎へた、十日に至るもまだ敵は必死の抵抗を續けて堅固な陣地に嚙りついて動かさず既に四方の退路を斷られたと見るや死者狂ひの抗戦を續けて居たが十日拂曉富金山東北方の一角を占領した、この方面で目撃した敵の遺棄死體だけでも三百三十に達し掩蓋機關銃座十數個を破壊した。

死闘實に一週間文字通り屍山血河の西孤嶺戦線は十日午後漸く一進展遂にその最高峯を奪取して頂上高く日章旗を翻した。又津田、島海、山田、八隅、大島各部隊は十日正午を期して一齊に山頂の敵に突撃を敢行一時間餘に互つて壯烈極ま

る白兵戦を演じ午後一時三十分遂に同嶺を完全に占領した。

柘城出發以來驚異的猛進撃をもつて隨所に敵を撃破大康、淮陽の兩要地を抜いた新銳○○部隊は更に○○方面に向け西進を續行、淮陽占領の○○部隊は七日同地北方約二十キロの清河驛を占領して新黄河對岸に殺到、一方太康より西進中の○○部隊も無人の境を行くが如く新黄河岸に肉薄中で一齊に新黄河を渡河猛進せんとする態勢にある、新黄河は目下減水中だが河幅はなほ二十キロ餘りに互りこれが渡河は相當困難を豫想される。

星部隊は六日固始西方へ退却中の敵大軍を急追し六里舖附近で五百の敵兵を撃破機關銃、小銃多數を鹵獲した、敵の遺棄死體百五十。

淮河を溯航して光州北方地區に突如として出現した間宮部隊は十日夕砲三門を有する五百の敵と遭遇我が間宮部隊は勇

敢に突撃して瞬く間にこれを撃破し敵を以て西南方に向け敗走せしめた。

加藤部隊は六日揚子江蕪湖、安慶間の殘敵巢窟大通北方揚山磯に敵前上陸し馬鞍山の堅陣を占領、揚子河の我が船舶に執拗に攻撃を續けて居た第百四十八、第百四十五師の敵兵を撃退した。

九月十一日 山西の山野をまたよく間に磨卷した皇軍の前に意氣全く銷沈した山西支那軍の動靜に注視しつつあつた○○部隊は礮口鎮方面の敵に對し積極的進撃に移つた。

九日拂曉敵の一部は河南省の北部清化鎮(博愛)方面の我軍に向つて迫撃砲彈を撃ち込み逆襲に出て來たが、何れもガス彈の形跡あり調査の結果ホスゲンガス彈なることが判つた。

十一日午後九時三十分我が倉林部隊は遂に富金山中の頑敵を撃滅同山を完全に占領し史河西岸の戦局は俄然新展開を見

るに至つた。

人見部隊はまづ大鵬山(五百十一メートル)を占領し更に十一日未明二時果敢なる夜襲を行つて和尚山高地(四百七十六メートル)を奪取し更に陳家凹山地を占領すれば太田部隊また砲火を敵據點に集中し十一日梨頭尖山地を陥れた、又一方藤岡部隊は敵十三師が必死に防禦する仙女池(三百一十一メートル)を攻撃し十日午後三時過ぎ奇岩をより立つ高地に日章旗をあげた。

昨日一片の雲なき中支の蒼空に我が陸軍航空部隊は銀翼を連ねて縦横無盡に活躍し各方面に多大の成果を収めたり、その主要なるもの左の如し。

- 一、秋山、田中の各部隊は午前十時過ぎ光州上空に飛び黄河の橋梁を爆破し更に同河にありし支那兵並に軍需品を滿載せる數十隻のジャンクを爆沈せり。
- 二、西澤部隊は金家寨を爆撃し同地にあ

りし敵寒集部隊を混亂に陥らしめたり
三、中藪、久保木、佐瀬の各部隊は數十機の大編隊を以て葉家集西方富金山及び花畑山の敵陣地に反覆爆撃並びに機銃射撃を加へ地上部隊の攻撃に密接なる協力をなせり。

四、服部、二井、野本、柴田の各部隊はまた數十機を以て商城上空に飛び同地の兵營及び飛行場施設を爆破炎上せしめたり。

五、釘宮、園部部隊は廣濟及瑞昌の地上部隊の攻撃に協力し又吉田中下村前島各部隊は西孤嶺附近地上部隊の攻撃に協力せり。

九月十二日 葉家集西方の山嶽地帯で頑強な抵抗を續けてゐる大別山東北守備の敵は我猛攻に堪へかね十一日夜富金山を放棄、十二日朝六時堅陣八百メートル高から敗退、全陣地總崩れとなつて大混亂を極めてゐる、我軍は直に追撃に移つ

た。
後藤部隊は十二日午前一時頃八百メートル高地の約二百メートル近くに進出全軍一丸となつて果敢なる夜襲を行ひ午前六時山上の敵を驅逐して同高地をも完全に占領した。

我が眞野部隊は南部山西趙村瀆關對岸及びその附近の陣地に侵入し盛んに蠢動する敵に對し十日夜突如夜襲を敢行壯烈なる肉彈戰を演じて十一日正午頃完全に占領、更に船に乗つて黃河を渡河退却せんとする約百名の敵に猛撃を加へて全部水中に殲滅し鹵獲品多數を得た。又松井部隊は十日午後離石より軍渡に通ずる道路の兩側高地に據り抵抗する敵を撃破しつゝ十一日午後六時半遂に柳村鎮を占領した、柘城より南下急進中の西川部隊は八日遂に二十キロに互る新黃河を渡渉して抵抗する敵を撃破し李樓（淮陽南方約三十キロ）を完全に占領したが更に同部

隊麾下の福田部隊は同日午後引續き西進同地西方約五キロの魚台集を占領した、一方大康を出發して猛進中の〇〇部隊も扶溝正面の新黃河對岸に殺到一氣にこれを渡渉せんとする態勢にあり李樓占領部隊と京漢線の距離は僅かに二十里餘に迫りつゝある。

